

授業改善推進プラン【社会科】

谷戸第二小学校

1 調査結果の分析

< 関心・意欲・態度 >

社会科への興味・関心は高く、学習に意欲をもって取り組む児童が多い。一方で、名称や地名など覚えることが多い科目としてとらえがちの児童には、苦手意識が高い。

< 思考・判断・表現 >

資料から分かることを選び取ったり、読み取った事実から自分なりの考えを導き出したりすることを苦手とする児童が多い。特に自分の生活に身近ではない事象に対しては、社会科的な見方や考え方ができない傾向が強い。

< 技能 >

グラフや写真の一部を読み取る技能は備わっている児童が多いが、地図や縮尺等の全体を読み取り、自分の考えをもつ力は十分ではない。

< 知識・理解 >

地図帳や地球儀、東京都や他の道府県の位置と名称、地形・気候、交通、特産物等、歴史上の出来事や人物の名前など、正確な知識が学習時に未定着なまま進級している傾向がある。



2 授業改善の方策

< 関心・意欲・態度 >

- ・ 児童にとって身近な題材を教材化するなど、児童が意欲的に活動できる学習を展開していく。
- ・ ICTを活用するなど、児童の意欲を引き出す工夫をする。
- ・ 覚えて活用することが必要な学習内容も、児童が意欲的に取り組めるように学習活動や学習展開を工夫する。

< 思考・判断・表現 >

- ・ 資料の見方をおさえ、数値の変化や、他の資料との異同等に着目し、自分の考えを表現できるように適切な発問や指示、資料の提示を適宜行う。
- ・ 個の読み取りを共有できるように、少人数での話し合いを取り入れ全体でも共有する。その際に、似ているけれど違う考えを取り上げ、どこが違うか考えさせる。
- ・ 資料から分かることを挙げて分類させ、そこから児童が内容に合ったタイトルをつけることで考えを深めさせる。(KJ法)

< 技能 >

- ・ 地図や地球儀、年表、資料集などを用いた調べ学習を行う際、読み取り方をTVモニターに映しながら繰り返し指導する。
- ・ 分かったことを文章や図、表などにまとめたり、話し合ったりして読み取る力を高める。
- ・ 必要に応じて、地図や地球儀などの補助資料を使用するように努める。

< 知識・理解 >

- ・ 身に付けさせたい事項には、家庭学習でも取り組めるように指導計画を立てる。また、フラッシュカード等を用いて短時間でも継続的に確認していく。
- ・ 1時間の授業でおさえたい用語に関しては、授業のまとめ時に全体で確認をする。また、用語を活用する機会を作り、確実に定着させるようにする。



3 活用につながる指導

学習を進める中で出てきた新たな疑問をさらに追究する時間を設定し、問題解決の力を育てる。また社会科で習得した能力については総合的な学習の時間において活用・応用することを図っていく。